

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和7年6月30日</p> <p>鳥取県知事 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者</p> <p style="text-align: right;">住 所 鳥取県西伯郡大山町所子263番地1</p> <p style="text-align: right;">氏 名 株式会社 所子建設</p> <p style="text-align: right;">代表取締役 中川 郁夫</p> <p style="text-align: right;">（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）</p> <p style="text-align: right;">電話番号 （0859） 53-4521</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>																			
事業場の名称	株式会社 所子建設																		
事業場の所在地	鳥取県西伯郡大山町所子263番地1																		
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日																		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項																			
①事業の種類	総合建設業																		
②事業の規模	元請完成工事高（令和6年度実績）566000千円																		
③従業員数	21人																		
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">アスコン殻</td> <td style="width: 30%;">中間処理業者へ委託 ⇒</td> <td style="width: 40%;">再生アスファルトとして再資源化</td> </tr> <tr> <td>コンクリート殻</td> <td>中間処理業者へ委託 ⇒</td> <td>再生砕石として再資源化</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>中間処理業者へ委託 ⇒</td> <td>固形燃料として再資源化</td> </tr> <tr> <td>木くず</td> <td>最終処分業者へ委託 ⇒</td> <td>燃料チップとして再資源化</td> </tr> <tr> <td>無機性汚泥</td> <td>中間処理業者へ委託 ⇒</td> <td>埋め立て処分</td> </tr> <tr> <td>混合建設廃棄物</td> <td>中間処理業者へ委託 ⇒</td> <td>分別後再資源化</td> </tr> </table>	アスコン殻	中間処理業者へ委託 ⇒	再生アスファルトとして再資源化	コンクリート殻	中間処理業者へ委託 ⇒	再生砕石として再資源化	廃プラスチック類	中間処理業者へ委託 ⇒	固形燃料として再資源化	木くず	最終処分業者へ委託 ⇒	燃料チップとして再資源化	無機性汚泥	中間処理業者へ委託 ⇒	埋め立て処分	混合建設廃棄物	中間処理業者へ委託 ⇒	分別後再資源化
アスコン殻	中間処理業者へ委託 ⇒	再生アスファルトとして再資源化																	
コンクリート殻	中間処理業者へ委託 ⇒	再生砕石として再資源化																	
廃プラスチック類	中間処理業者へ委託 ⇒	固形燃料として再資源化																	
木くず	最終処分業者へ委託 ⇒	燃料チップとして再資源化																	
無機性汚泥	中間処理業者へ委託 ⇒	埋め立て処分																	
混合建設廃棄物	中間処理業者へ委託 ⇒	分別後再資源化																	

前 年 度 【令和6年 度】 実 績

提 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
高知県西伯郡大山町所子263番地1	株式会社 所子建設	総務	瀬野 浩	0899-53-4921	0899-53-3244	

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況										(注) ⑩ = ① - ② - ③ - ④ + ⑥ - ⑧ - ⑨ = ⑫ + ⑬ + ⑭ + ⑮ + ⑯					⑫ + ⑬	⑮ + ⑯		
	① 排出量 (t)	② 自ら直接 再生利用した量 (t)	③ 自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④ 自ら中間処理した (t)	⑤ ④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥ 自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦ 自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧ 自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨ 自ら中間処理した 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩ 直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	⑪ 再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫ 熱回収業者 への処理委託量(t)	⑬ 熱回収業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑭ ⑭のうち、委託 して取替等の中間 処理した量(⑭-⑮ を除く)	⑮ 埋立処分委託量(t)			⑯ 優良認定処理業者 への処理委託量(t)	⑰ 自ら再生利用 を行った量(t)
1 1502 アスコン殻	1,378.00							1,378.00	1,378.00									0	0
2 1501 コンクリート殻	186.93							186.93	186.93									0	0
3 600 廃プラスチック類	0.40							0.40	0.40									0	0
4 811 木くず	164.75							164.75	164.75									0	0
5 2100 混合	18.200							18.20	18.20							18		0	0
6								0.00	0.00									0	0
7								0.00	0.00									0	0
8								0.00	0.00									0	0
9								0.00	0.00									0	0
10								0.00	0.00									0	0
11								0.00	0.00									0	0
12								0.00	0.00									0	0
13								0.00	0.00									0	0
14								0.00	0.00									0	0
15								0.00	0.00									0	0
16								0.00	0.00									0	0
17								0.00	0.00									0	0
18								0.00	0.00									0	0
19								0.00	0.00									0	0
20								0.00	0.00									0	0
合計	1,748	0	0	0	0	0	0	1,748	1,748	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【令和7年度】目標

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス

産業廃棄物の種類	計画の実施状況										委託先による区分				②+⑧	③+⑨ 自ら埋立処分又は 委託先へ投入処分を行った量 ⁽¹⁾		
	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量 ⁽¹⁾ (t)	④自ら中間処理した (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 ⁽¹⁾ (t)	⑨自ら中間処理した 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量 ⁽¹⁾ (t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 委託委託量 ⁽¹⁾ (t)	委託先による区分 (⑩=①-②-③-④+⑥-⑧-⑨)=⑩+⑪+⑫+⑬+⑭)		⑪優良認定処理業者 への処理委託量 ⁽¹⁾	⑫再生利用業者 への処理委託量 ⁽¹⁾			⑬熱回収業者以外の 熱回収業者への処理委託量 ⁽¹⁾	⑭その他中間処理 委託先への処理委託量 ⁽¹⁾
コード 名称	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理せず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理せず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑤の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量 ⁽¹⁾ (⑬、⑭を除く)	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、委託して契約等の中間処理した量 ⁽¹⁾ (⑭～⑯を除く)	⑩の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑩の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑧の量を合計したもの(自動計算)	③の量と⑨の量を合計したもの(自動計算)
1 1502 アスコン殻	800.00								800.000	800						0	0	
2 1501 コンクリート殻	70.00								70.000	70						0	0	
3 600 廃プラスチック類	0.50								0.500	0.5						0	0	
4 811 木くず	100.00								100.000	100						0	0	
5 2100 混合	15.000								15.000	15					15	0	0	
6									0.000	0						0	0	
7									0.000							0	0	
8									0.000							0	0	
9									0.000							0	0	
10																0	0	
11																0	0	
12																0	0	
13																0	0	
14																0	0	
15																0	0	
16																0	0	
17																0	0	
18																0	0	
19																0	0	
20																0	0	
合計	986	0	0	0	0	0	0	0	986	986	0	0	0	0	15	0	0	

(注1)トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
(管理体制図) 代表取締役 (廃棄物担当役員) → <総務> 廃棄物の管理運営を行う ↓ <工事部> 廃棄物管理・処理業者、再生利用業者の選定・管理 委 託契約の締結・マニフェストの交付管理 その他関係する事項							
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			①現状			
	産業廃棄物の種類	アスコン殻	コンクリート殻	廃プラスチック類	木くず	混合	0
	排出量	1378 t	186.93 t	0.4 t	164.75 t	18.2 t	0 t
	排出制御が難しいため数量の取り組みができない。 官公庁の工事による排出の場合指定業者に処分委託する						
②計画	【目標】			②計画			
	産業廃棄物の種類	アスコン殻	コンクリート殻	廃プラスチック類	木くず	混合	0
	排出量	800 t	70 t	0.5 t	100 t	15 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 官公庁の工事による排出の場合指定業者に処分委託する						
産業廃棄物の分別に関する事項							
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底						
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】			①現状			
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 官公庁の工事から発生する廃棄物のため、自社での再生利用はできない						
②計画	【目標】			②計画			
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 官公庁の工事から発生する廃棄物のため、自社での再生利用はできない						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】			①現状			
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) 官公庁の工事から発生する廃棄物のため、自社での再生利用はできない							
②計画	【目標】			②計画			
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 官公庁の工事から発生する廃棄物のため、自社での再生利用はできない							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】			①現状			
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し						
②計画	【目標】			②計画			
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 官公庁の工事による排出のため自社での埋立て処分・海洋投入処分はできない。						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			①現状			
	産業廃棄物の種類	アスコン殻	コンクリート殻	廃プラスチック類	木くず	混合	0
	全処理委託量	1378 t	186.93 t	0.4 t	164.75 t	18.2 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1378 t	186.9 t	0.4 t	164.75 t	18.2 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者へ委託する						

②計画	【目標】			②計画			
	産業廃棄物の種類	アスコン殻	コンクリート殻	廃プラスチック類	木くず	混合	0
	全処理委託量	800 t	70 t	0.5 t	100 t	15 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	600 t	50 t	0.5 t	t	15 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	200 t	20 t	0 t	100 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 再生利用業者へ委託する							
※事務処理欄							

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。